



クリスティアン・クノッフ

“K-モデル”–ホルン奏者であればどのようなモデルかすぐ頭に浮かびます。現在このモデルを製作しない工房はないといっても過言ではないほど世界中に広まっています。頭文字の“K”は、このモデルの考案者、ヘルベルト・フリッツ・クノッフから取られています。

クノッフの家系は、元は旧東ドイツとチェコの国境の町マルクノイキルヒェンのヴァイオリン、弓の製作家でした。金管楽器製作としてはクリスチャン・ハインリヒ・クノッフが1852年に創業したのが最初です。2代目のハインリヒ・アウグスト・クノッフは1893年に工房を開業。アイデアの豊富な人でホルン工房としてのクノッフの土台を作り上げました。彼の製品は短期間のうちにドイツ全土に広まり、外国からも注文が来るほどに名前が知れわたりました。アウグストには2人の息子がおり、長男ヘルベルトもまた管楽器製作のノウハウ、アイデアが豊富で、クノッフの名をヨーロッパ全土に広めました。しかし、ヘルベルトは1919年に自身の工房登録をし1926年に独立。以来、父兄弟間は完全に分かれてしまいました。同年次男クルトがアウグスト工房を継いでいます。この分裂がK-モデル誕生のきっかけだったのかもしれない。

1945年、第二次世界大戦でクルトが戦死。クルトの長男エドガーは戦中戦後にまたがったため1953年までマスター試験を受けられず、試験を通過後アウグスト工房を再開しました。しかし、旧東ドイツ政府が国营楽器工場を設立。クノッフ一族は工場勤務を拒否し国营販売組織にも加入しなかったため、政府からの圧力でヘルベルトは楽器製作のための材料が手に入らなくなり、エドガーも1976年まで学生向けの楽器の製作販売しか許可されませんでした。ヘルベルトは1969年死去。その後、ヘルベルト工房は次男ヨハネス、ヨハネスの息子で現工房主のクリスティアンへと受け継がれました。1990年のドイツ統合を機にエドガーのアウグスト工房との関係も戻り、子宝に恵まれなかったエドガーはアウグスト工房をクリスティアンに譲渡。クノッフはまた以前のようにひとつの家族となり、ホルン奏者期待の工房として再出発しています。

ボアサイズ11.9mm、各抜差部分からマウスピースまでイエローブラスを使用し、倍音や音程のとり方も昔ながらの設定で繊細な音色感と明るさ、柔らかさを併せ持つサウンドが特色。ベルスロートはメディアムとラージからお選びいただけます。



16MA

6M	B♭ シングル イエローブラス ワンピース ノーラッカー仕上 4ロータリー Aストップキ付
8M	B♭ シングル イエローブラス ワンピース ノーラッカー仕上 5ロータリー Aストップキ・ナチュラルF管付
13M	F/B♭ セミダブル イエローブラス ワンピース ノーラッカー仕上 4ロータリー
14M	F/B♭ セミダブル イエローブラス ワンピース ノーラッカー仕上 5ロータリー Aストップキ付
16M	F/B♭ フルダブル イエローブラス ワンピース ノーラッカー仕上 4ロータリー
17AM	F/B♭ フルダブル イエローブラス ワンピース ノーラッカー仕上 5ロータリー Aストップキ付
18M	F/B♭ フルダブル イエローブラス ワンピース ノーラッカー仕上 5ロータリー E-Aストップキ付
20M	B♭/High F セミダブル イエローブラス ワンピース ノーラッカー仕上 5ロータリー Aストップキ付

Option ベルカット
ラッカー仕上
ゴールドブラス仕様

- ・価格はすべてオープンブライス
- ・ハンドメイド製品のため、納期を要する場合がございます
- 在庫、入荷状況、仕様についてはお問合せください



Mute

ホルン本来の音はそのままに音量を抑えたいという方におすすめのミュート。まるで遠くで演奏しているかのような遠近感のある音色を生み出します。特にマーラーの交響曲に最適です。

革製・ストレート(ショート/ロング)
¥25,000 税抜 ¥27,000(税込)

外観、仕様および価格は予告なく変更する場合がございます。